

第2回 京都府土地開発公社業務上横領 事件に係る再発防止策検討委員会の概要

令和8年6月19日
京都府土地開発公社

- 1 日 時 令和8年6月15日（月）13:25 ～ 15:00
- 2 場 所 土地開発公社事務局執務室（府庁西別館）
京都府庁旧館2N会議室
- 3 出席者（委員）
中野 雄介 公認会計士（委員長）
上原 哲太郎 立命館大学情報理工学部教授
小林 由香 税理士
武田 信裕 弁護士（全委員が会場参加）
（事務局等）
京都府土地開発公社役員・職員ほか
- 4 主な内容・質疑応答等
 - (1) 事務局執務室の実状説明
 - ・PCA会計システムとEBサービス（インターネットバンキング）の操作方法、金庫の配置状況等
 - 委員からの主な発言**
 - ・執務室で改ざん等の作業をしていたなら職員が気づかなかったのは残念。
 - ・パソコンや金庫の状況、経理事務の流れを確認し、一定の設備や作業ルールがあることは理解した。
 - ・金庫や通帳の現存確認のみならず残高までの原本確認が必要。
 - (2) 第1回公判の概要報告
 - 委員からの主な発言**
 - ・公判証拠書類を確認すれば詳しい手口等は明らかになると思われる。
 - (3) 第1回委員会における委員指摘事項への対応状況
 - ア PCA会計システムのログ保全について
 - 委員からの主な発言**
 - ・PCA会計システムではいろいろなことができるため、EBサービスや通帳原本など違う観点から異常な動きを見つけることが必要。
 - イ 情報セキュリティポリシーについて
 - 委員からの主な発言**
 - ・公社では情報セキュリティポリシーが未整備だが、文書管理規程は電子文

書も対象であり、PCA会計システムのデータも対象となる。

ウ パスワードの管理について

委員からの主な発言

- ・パスワードを頻繁に変更すると、××01、××02 などパターン化が生じやすくなるので、必ずしも短期間で変更するのがよい訳ではない。

(4) 再発防止策(案)の構成 ～原因と対策～

委員からの主な発言

- ・EBサービスにはパスワードだけでなく、多要素認証(パスワードに加え、物理的な認証などを加える)が有効である。
- ・何か所ものチェックを何故くぐり抜けてきたのか。チェック機能の強化が必要。監事や経理業務受託会社を含め、原本の確認など基本的なことをルールとしてやっていくことが必要。

5 その他

委員からの主な発言

- ・裁判記録は被害者が損害賠償を行うために提供されるが、再発防止策検討のために活用できないか。
- ・第3回委員会では、経理業務委託契約、内部監査の実施状況等を確認したい。
- ・事務局で実行できる改善は自ら進め、改善状況を委員会に報告願いたい。